

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる	乗用車販売店（従業員）	・例年1～3月が一番車が売れる月となっているので、期待している。
	やや良くなる	スーパー（店長）	・東日本大震災の影響がさらに弱まり、元々あった消費者の上質志向が浮揚してくると予想する。
		スーパー（人事）	・年末年始の気候や賞与の状況にもよるが、幾分は持ち直すと思われる。平日や平常時はやや節約志向が強いが、家族の絆型の催事の多い時期なので、そこに伸びしろがあるとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・寒くなってきて、冬物衣料がやっと動き出した。
		通信会社（支店長）	・新たな商品やサービスの販売拡大に期待している。
		通信会社（営業担当）	・年末年始に向けた新商品が続々と登場してくることや、年末商戦、春商戦の到来で市場が活気づくことに期待する。
		競艇場（職員）	・12月は本場開催、場外発売ともにビッグレースがあり、1月は正月レース開催ということで、一時的にせよ売上増が見込める期待感がある。
		設計事務所（所長）	・工場など、業務用施設の建設が少し増えてきたように思われる。
		設計事務所（職員）	・第3次補正による防災減災関係の公共事業が増えることが見込めるため、多少、受注環境が好転することに期待している。年度末まで期間が短いため、早期の補正予算執行を期待している。
	住宅販売会社（従業員）	・新規の商談件数は増えてきており、今後の受注は増加する見通しである。	
	変わらない	商店街（代表者）	・商店街内の店舗で、リニューアルや、新規出店等の動きがみられる。年明けから春先にかけて新しい魅力的な店のオープン予定もあるが、このままの状態で推移すると予想する。
		商店街（代表者）	・例年なら年末に向けて動きがあるのだが、今年は全然感じられない。年金、社会保険料、税金など、公的出費が増えそうな感じが強いことも原因と推測される。
		百貨店（営業担当）	・催事の関係で高額商品に動きがみられた。また、雑貨及び衣料品については、婦人、紳士用品共に感度が高い商品に動きが目立った。お歳暮の前哨戦は若干、前年割れで推移している。
		スーパー（店長）	・気候も、また周りの環境もなかなか変わらないので、現状でも景気は変わりようがない。
		スーパー（店長）	・今の政策が増税に向かっていく以上、なかなか景気が上向くことはないかと予想する。
		スーパー（企画担当）	・年末に向けて賞与の支給状況などにより影響は出てくる。
		コンビニ（店長）	・すぐに景気が悪くなるとは思わないが、当店では増収減益となっている。景気が回復する状況にはないと考える。
		コンビニ（総務）	・先行きの不透明感や身の回りの景況不安など、今後消費喚起するような材料が見当たらない。
		コンビニ（商品担当）	・タバコ増税効果が一巡し、更に政情が混沌としているなかでは、中々消費が向上する予想は立てにくい。
衣料品専門店（経営者）		・消費税の増税が検討されているため、影響は予想される。	
衣料品専門店（総務担当）		・依然として来店客は伸びず、必要なものだけを買うという意識が高い。気温の低下が遅れるほど、顧客はセール待ちになり、収益が悪化する。	
家電量販店（店員）	・12月、1月とゲーム等の販売が他商品の低下を補う程度で、回復まではいきそうにない。		
家電量販店（営業担当）	・いまの買い控えの傾向は、長引きそうである。全体的な販売が、1ランク下で推移しそうな傾向にある。エコポイント終了後の影響が強く出る形となっている。		
乗用車販売店（従業員）	・多額の年金等の受給者は高齢の方が多く、自動車の購入にはつながらず新車販売の台数は徐々に減少していくと予想される。		
乗用車販売店（営業担当）	・2～3か月先は春の最需要期に入るが、大きな期待はできない。		
観光型旅館（経営者）	・現状はまあまあ良いという状態だが、これが良くなることもない。2～3か月先の予約状況をみても、あまり変わらない状況で、当面、良くなる外部要因も見当たらない。		
旅行代理店（支店長）	・今後、欧州の信用不安や円高による景気の低迷により、旅行需要への悪影響が懸念され不安な状況である。		
通信会社（営業担当）	・他社の動向を考慮すると例年以上に競争が厳しい。		
観光名所（職員）	・入場者数の伸びの変動が小さく、今後もこの状況が続くそうである。		

	ゴルフ場（従業員）	・12月、1月も、前年と比較して、非常に悪い数字となっている。不景気だからなのか原因が分からないが、単価も下落、客数も減っており、愛媛県内のみならず、四国全体が同様になっている状況となっている。	
	美容室（経営者）	・年末は一時的に増加の見込みはあるものの、節約傾向が相変わらず強いので改善されないと予想する。	
やや悪くなる	一般小売店〔生花〕（経営者）	・贈り物や送別用商品単価が少しずつ下がってきているように思う。クリスマスなどの年末商品も、お手頃価格のものは売れそうな見通しである。	
	一般小売店〔菓子〕（総務担当）	・商圈変化は継続していくものであり、既存商圈の変化は長期的な取り組みが必要である。	
	スーパー（企画・営業担当）	・今年の年末年始は、家庭や近親者で過ごす傾向にあることから、プラス要因とみている。しかし、街の景況感は決して良いとは言えず、消費マインドは低調である。	
	衣料品専門店（経営者）	・アウターは、気温が低くなれば、ある程度は売れると思うが、県内に大きなショッピングセンターが11月にオープンしたため、その影響が非常に大きく、1～2割くらいのダウンはみている。	
	家電量販店（店長）	・アナログ停波後のテレビの落ち込みに加え、家電エコポイントの施策もなく、今年度について景気は上昇することがない見通し。	
	乗用車販売店（役員）	・今月は販売状況が少しは良くなると思っていたが、依然として受注状況は非常に悪く、タイの洪水でカーナビが到着しない等で、販売ができない。ただ、今後ハイブリッド車の投入等もあって、市場の盛り上がりが見込める。	
	住関連専門店（経営者）	・東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所事故で、ムード的に悪い。	
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・お正月を過ぎると、大変暇になるので、景気は悪くなる見通しとなっている。	
	一般レストラン（経営者）	・景気が悪く、身動きがままならない状態。郊外に100店舗からなるニュータウンができ、人、物、金が移動している状況下では、対策に苦慮している。	
		タクシー運転手	・お遍路自体の仕事もなくなり、街もまた一層、暇になると思う。昼も夜も現状より悪くなるのではないかと。
	通信会社（企画）	・高額商品の引き合いについては、大きく伸びる要因がなく、今後はやや悪くするとみている。	
悪くなる	一般小売店〔乾物〕（店員）	・近隣に大きなショッピングセンターがオープンしたので、その影響がポディーローのように効いてくると思う。客足が目立って減っている。	
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・県内に11月、郊外に大型ショッピングセンターがオープンし、今後、客足がそちらへ集中し、ますます商店街が閑散すると予想される。	
企業動向関連	良くなる	—	
	やや良くなる	通信業（部長）	・冬商戦に向けて新商品の発売もあり、市場は少しは活性化するものと考え。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・タイの洪水問題が長期化すれば、他社メーカーの転注等により部品調達に間接的に影響がでる可能性がある。また東日本大震災以降の各社の増産により、一部部品に供給不足が生じており生産計画に若干の修正が必要になってきている。
		建設業（経営者）	・災害復旧工事が本格的になるのは来年度以降の見通し。
		建設業（総務担当）	・耐震補強工事の案件が、公共、民間とも増えてきているが、採算を考えると、落札できない状況が続く見通となっている。
		輸送業（経営者）	・株価の低迷、燃料の高騰など不安要素が多い。
		通信業（総務担当）	・変動要素が見当たらない。
		金融業（融資担当）	・冬の賞与も横ばいの見込みである。
		広告代理店（経営者）	・大手流通関係得意先の近県オープンに伴い受注増が今後も多少見込まれるが、地元資本の得意先の多くは販売不振による広告費削減の話が多く、全般的にはあまり変わらない。
		公認会計士	・将来に対して非常に不安を持っている方が増えてきている。特に不動産等に関しては、地価が下落傾向で、来年度も下落するのではないかとという話が広がっている。企業の業績悪化や、設備投資が前向きにいかないということではないかと思う。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・今、産業用の太陽光設備が非常に好調だが、法律は来年7月施行となっており、肝心の電気料金等々が決まっていない。引き合いはあるのだが、契約には至らないのが現状。そのほか、設備に対しても、少しかげりが出てきたと感ずる。
		電気機械器具製造業（経理担当）	・欧州市場の受注数量減が顕著。大幅な価格対応を行っても、従来の受注数量を確保するのは非常に難しい状況。さらに円高が今後も続く予想され、為替差損の影響を受けるとともに、タイの洪水の影響もあり、悪化の方向である。

		輸送業（営業）	・景気低迷や円高を背景として様々な衣食住関連商品が値下がりしており、適正な流通価格での取引がされていない。荷主企業各社も生き残りをかけたコスト削減に躍起になっており、経営の安定化に不可欠な要素となる適正運賃の收受もできていない。
悪くなる		広告代理店（経営者）	・資材価格の値上げ状況については、先が見えない。
		食料品製造業（商品統括）	・円高の固定化と欧州の信用不安により、日本人気質として楽観的な購買行動へは絶対つながらないと考える。気持ちが後ろ向きとなる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・例年1、2月は一番受注量が落ちる時なので、受注量は減少すると予想する。
		鉄鋼業（総務部長）	・現在の円高水準が続けば、受注量の激減、販売価格の下落は避けられない。
		輸送業（支店長）	・公共投資の沈静と、荷主生産数量の沈滞化による。
雇用 関連	良くなる	—	—
	やや良くなる	人材派遣会社（営業）	・冬季賞与支給に伴う消費意欲は高まる見込み。引き続き、非正規雇用の需要は高まり、一時的な労働人口は高まると考え、景気もやや良くなる見込みとなっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・今後も新型車の投入が続くので車関係は伸び、優遇税制の延長見込みにより、販売台数は堅調に推移する見通し。また、住宅着工件数が増えると様々な分野で消費を促進するとも思われる。ただ、新規店舗の出店は鈍く、お金が回っているという状況になるのは難しい。地場の小売店は厳しく、県外資本店が優勢の流れには変わりはない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人数が若干増加の傾向にある。例年この時期は、年度末の退職者等から求人数が増える傾向があり、改善すると予想される。
	変わらない	人材派遣会社（営業部長）	・求人数は堅調に推移しているが、派遣登録が低調である。内容が大幅に緩和される見込みの派遣法改正案がはっきりすれば求職者が動き出すだろう。
職業安定所（職員）		・大手企業の業績は良くなっているようであるが、中小企業は良くなっている情報は見られない。	
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・緊急雇用などの予算も3月で終わり景気に不安を感じる。	
	求人情報誌（営業）	・企業が求人をしていないのは、経済活動が停滞している表れであり、数か月後に景気が上向いているとは考え難い。	
	求人情報誌製作会社（従業員）	・例年、年末年始は求人数が減少する。	
	職業安定所（職員）	・企業の求人意欲が減少しており、就職難による景気の停滞が予想される。	
	民間職業紹介機関（所長）	・製造業に勤務する登録者のなかに、現在の勤務先の将来への不安があつて、勤務しながら転職活動をしようとする登録者が増えてきた。また、今冬の賞与が無いという企業も多い。	
悪くなる	—	—	